

公表:令和5年3月30 日

職員数 6名 回収数 6件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				・児童の活動の状況に応じた必要なスペースが確保されている。	⇒安全に活動できるよう、動線上に物を極力置かないなどの配慮をさらに進めていきたい。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1			・児童の利用状況に応じて臨機応変に人員配置ができています。	⇒職員体制は、配置基準に加え職員を配置しており、児童の利用状況に応じた人員配置を整えられるように体制整備を行う。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか	2	1	2	1	・介助の必要な利用者に対しては、複数の職員で対応している。	・玄関先・入口に段差がある。 ⇒賃貸物件のため、改修工事は簡単ではないので、引き続き介助の必要な利用者に対しては、複数の職員で対応していく。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2			・より良い支援をするため日常業務及びイベントの企画、振り返りなど職員全員で検討している。	⇒目標設定や振り返りに、自由に意見を出し合えるような体制を構築し、PDCAサイクルに則り業務の改善を図っていきたい。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1			・自己評価アンケートを実施し、意向や意見を把握するよう努めている。	⇒アンケートだけでなく、保護者からの声をその都度吸い上げ、さらに改善に繋げられるよう努めたい。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2			・今回よりHPで公開することで、利用者以外の方へも幅広く閲覧できるようにした。	⇒ホームページ上で、より分かりやすく、見やすいフォーマットで公開できるよう改善していきたい。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1		1	・現在は実施していない。	⇒今後検討していきたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				・サポーターズカレッジによる視聴研修を年間計画のもと実施し、外部研修に出る時間削減でき、支援職員の負担軽減や現場の人員不足解消につながっている。	⇒引き続きサポーターズカレッジを中心に、年間研修計画を立て、業務の効率化を図りながら、定期的な研修を行っていきたい。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				・面談等で保護者の方から話を聞いたり、職員間で児童の様子を話し合うなどした上で作成し、客観的な分析を心がけている。	⇒保護者や子どもだけでなく、相談支援事業所からの情報も参考にし、ニーズを抽出分析の上、個別支援計画書を作成していきたい。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6				・事業所独自に作成したアセスメントシートを使用している。	⇒標準化されたアセスメントツールを参考にしながら、引き続き課題が見えやすいアセスメントシートを使った上で、面談を行っていきたい。
⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2			・グループで話し合っ、活動内容を検討できるよう工夫している。	⇒個々の状況や、意志を尊重できるような多彩な活動プログラムをチームで検討していきたい。	

公表:令和5年3月30 日

職員数 6名 回収数 6件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2			・固定化しないよう、職員間で打ち合わせして様々なプログラムを用意するよう工夫している。	・障がい特性上新しいことにチャレンジ難しいお子さんもおり、一律に参加することは難しいため、それぞれの状況に応じた活動内容や参加の仕方を検討する必要がある。 ・平日については、下校時刻にばらつきや時間的制約もあるので、固定的になってしまうこともある。 ・固定のプログラムの方が安心して過ごせる利用者もいる。 ⇒こだわりや特性などに配慮するとともに、職員間での打ち合わせの機会を増やし、新しいプログラムの発案にも努めていきたい。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ、細やかに設定して支援しているか。	4	1		1	長期休暇時は普段とは違う活動ができるよう工夫している。	・長期休暇時の活動など、お子さんの特性に応じて、できる限り要望に応えられるように支援をしていきたい。 ⇒平日と長期休暇では、利用時間が異なるが、今後も臨機応変に課題設定の対応をしていきたい。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				・モニタリングを実施し、半年ごとに計画書の見直しをしている。 ・様々な活動ができるように、また子どもの意思を尊重した計画書作成を心掛けている。	⇒今後も集団活動と個別活動を適宜に組み合わせた包括的な計画書を作成していきたい。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1			・朝と午後からの出勤の職員が揃ったところで、送迎や利用者の状況、その日の流れなどの確認を行っている。 ・毎日必ず実施している。	⇒引き続き、支援内容などの確認を行い、変更等があれば職員全体に情報が共有、周知するよう徹底していきたい。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1			・その日にあった出来事を振り返り、職員が気づいたことを共有している。	⇒業務体制を見直し、効率よく情報共有ができるように工夫していきたい。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1			・日々の支援に関する記録は必ず残し、気になったことは情報交換しながら支援について話し合いをしている。	⇒支援の検証・改善につながるよう意識しながらの記録の方法のポイントを工夫し、研修等を検討したい。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				・定期的にモニタリング及び担当者会議を開催し、計画の見直しを含め確認している。 ・見直しの必要があるかも含め、確認できている。	⇒今後もモニタリング及び担当者会議等を通して、計画の見直しを行っていきたい。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			1	・自由な活動をメインに、様々な活動を取り入れている。	⇒今後も季節の行事や公園などの課外活動、農作業などの複数の活動を組み合わせ支援していきたい。

公表:令和5年3月30 日

職員数 6名 回収数 6件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6				・管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。	⇒今後も同じように対応していきたい。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	1			・事前に下校予定をもらったり、送迎時に先生方とやり取りをしている。 ・下校時間については、学校からの連絡があるところと、保護者から連絡を受けることがあり、それぞれ対応している。	・学校によって対応の違いがあり、難しい場合がある。 ⇒先生や学校によって対応の違いがあるが、気になることがあれば、こちらから積極的に聞くようにして下校時間の間違い等がないよう対応していきたい。
	㉒ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1			5	・医療的ケアの利用者がいない。 ・対象者が現時点でいない。	⇒現在は対象の利用者はいないが、今後そのような利用者が出てきた場合には体制を整えていきたい。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に務めているか。	4	2			・同法人が運営する児童発達支援センターから新年度利用する未就学児について情報提供、共有、連携をおこなった。	⇒相談支援専門員が事前の情報提供や共有などの調整を行っていることが多いので、必要に応じて対応していきたい。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		3	・卒業後、成人の事業所や施設の職員より、放デイ利用時の様子について問い合わせがあった。	⇒要望があれば、情報提供をしていきたい。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1		・現在の放デイの利用者で、対応の仕方について相談したり助言をしてもらうこともあり、連携を心掛けている。	⇒同法人内という強みを活かし、日々の連携に努めていきたい。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		2	2	・公園利用した時や散歩している時など、自分から積極的に挨拶する子が多い。 ・公園などで、地域のお子さんと一緒にサッカーをするなどの関わる機会を設けた。	⇒日頃から地域の公園で活動を通じ、地域の子どもたちとの交流を進めていきたい。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6				・お知らせのあった部会への参加はできるだけするようにしている。 ・オンライン、対面方式に参加している。	⇒今後も、管理者や主任が参加していくようにする。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				・面談や日頃の送迎時で話すように心がけている。 ・送迎時は、その日の様子を伝え、保護者からの相談や要望等を吸い上げ、困りごとについて共有するよう努めている。	⇒今後も丁寧な対応を心掛け、共有していくように努めていきたい。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	2	2		⇒新年度、職員1名をトレーナー養成のため研修に参加予定となっており、以後保護者への支援につなげていきたい。
	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				・管理者が、契約時など丁寧に書面を用いて対応している。	⇒今後も契約時などに丁寧にやっていく。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6				・相談があった時には、電話やLINE等で、対応している。 ・送迎時、LINE等で頂いた相談に対し、管理者や主任から保護者に返答、助言を行っている。	⇒今後も、適切に対応していきたい。

公表:令和5年3月30 日

職員数 6名 回収数 6件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	⑳ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1			・コロナ禍はできなかったが、ようやく対面での保護者会を開催できた。今後、より多くの参加を促すため、保護者アンケートを実施した。	⇒保護者交流会の開催などで、より多くの保護者の参加、交流ができる機会を設定できるよう、アンケートを基に、新年度実施していきたい。
	㉑ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				・苦情には、速やかに適切な対応を行っている。 ・苦情解決のマニュアルは整備されている。連絡先も提示している。	⇒今後も、迅速な対応ができるようにしていく。
	㉒ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				・月に一度の『めだか通信』の発行。ホームページへの活動の写真のアップを行っている。 ・またLINE等で、イベントの案内、悪天候時の連絡体制など、事前に発信している。	⇒めだか通信の発行、ホームページでの写真のアップ、またイベントや悪天候時の連絡など、引き続き行っていきたい。
	㉓ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6				・個人情報使用同意書をとり、必要最小限の使用にとどめている。記録等のPCソフトは入力時個人パスワードを設定。ホームページ上のギャラリーは同意をとり、パスワードを設定している。	⇒今後も、契約時に説明し、同意をいただき、保管には細心の注意を払っていきたい。
	㉔ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1			・配慮が必要な子どもや保護者に対して、できるだけわかりやすい説明を行っている。	⇒今後も引き続き配慮をしていきたい。
	㉕ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	2	3	・ザリガニ釣りなどは、地域住民の協力を得て、釣る場所をお借りした。	・コロナ禍もあり、地域住民と関わる機会がなかった。 ⇒利用者や職員が積極的に地域や地域住民にアプローチし、交流を増やしていきたい。
非常時等の対応	㉖ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	1		・各マニュアルが整備されている。	⇒マニュアルの策定はされているので、保護者に対して簡略化したわかりやすい内容のものを周知をしていきたい。またマニュアルそのものの見直しを定期的に行いたい。
	㉗ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				・ほぼ毎月、火災や地震を想定した避難訓練を行っている。 ・毎月、曜日を変え、地震、火事、水害を想定した訓練を実施している。	⇒十分に訓練結果を伝えきれていないので訓練の実施の報告を伝える工夫をしていきたい。また、警察や消防の力を借りて、防犯やAEDなどの研修も行うようにしていきたい。
	㉘ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				・サポーターズカレッジで個人視聴をし、職員間で話し合いも実施した。 ・研修の年間計画を作成し、実施した。 ・法人内の研修の参加をした。	⇒新年度も、今年度同様実施していきます。
	㉙ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		1	・万が一実施する際は、委員会を開催し、協議し、保護者に説明、同意を得た上で、計画書に記載して実施するマニュアルはできている。	⇒現在は対象の利用者はいない。緊急やむを得ず身体拘束を行う場合には、保護者、学校などあらゆる関係機関から意見を聞き、事前に説明と同意の上、計画書への記載をした上で実施したい。またどのような場合が、該当するのか実際のケースを想定したマニュアルを策定したい。

公表:令和5年3月30 日

職員数 6名 回収数 6件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑫	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	3	3			・食物アレルギーについて事前に聞き取りはしており、現在の利用者で配慮の必要な利用者はいない。	⇒現在は該当の利用者はいないが、対象となる子どもがいる場合、保護者や医療機関との情報共有や連携を行い、安全な対応を行っていききたい。
⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1			・事例集は無いが、毎月の職員会議の議事録には添付し、回覧している。 ・毎月の職員会議内やその日の打ち合わせの際、ヒヤリハットの共有を行い、支援前の確認をしている。いくつかの事例については、検討する機会を持った。	⇒今後も継続してヒヤリハットの共有、話し合い等を行っていききたい。また今まで積み重ねた事例集の作成に取り組みたい。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。